

# 令和2年度 東京都立農産高等学校（全日制課程）学校経営計画

校長 伊達崎 広

## I 目指す学校像と生徒像

### 1 目指す学校像 「食と緑と農を創造する学校」

- (1) 農業の専門教育をとおして、地域社会を支える人材をはぐくむ学校
- (2) 自他の個性と生命を大切にする生徒の心を育てる学校
- (3) 限られた条件の下でも目標に向かって努力することのできる生徒を育てる学校
- (4) 地域貢献活動をとおして、地域社会や都民の期待に応える学校
- (5) 教員一人一人が、教育の専門職として自らの専門的能力の向上に努める学校

### 2 目指す生徒像 「将来へ向けて一步を踏み出すことのできる生徒」

- (1) 農業に誇りをもち、学びを生かそうとする生徒
- (2) 自分を大切に、自分と同じように他者を大切にする生徒
- (3) 目標に向かって努力することのできる生徒
- (4) 自分のため、他者のため、社会のために行動・実践できる生徒
- (5) 時間を守り、時と場に応じた身だしなみを整えることのできる生徒

## II 教育活動の目標と方策

### 1 学習指導の充実

#### 【中期的目標】

・生徒の分かった、できたを大切にする授業、主体的、対話的で深い学びのある授業、生徒がさらに勉強したくなる授業をとおして、生涯にわたって必要なことを学習し続けるための学習方法を身に付けさせる。

#### (1) 普通教科、専門教科の授業の充実

【目標】 個々の生徒への学習支援を充実し、基礎学力の向上を図る。

【方策】 ①生徒の興味・関心を高める工夫を徹底して行う。

②生徒に考えさせる授業を行って、知的好奇心や学ぶ意欲を高める。

③授業外で個々の生徒の学習段階に応じた指導を行い、生徒のわかった、できたを支援する。

【重点目標】 ①定期考査や基礎力診断テスト等を分析し、生徒一人一人の学習状況に対応した指導を行う。

②学力向上研究校として、学び直しの指導を徹底し、基礎・基本を確実に定着させる。

#### (2) 系統的な専門教科学習の推進

【目標】 農業の基礎となる専門的知識・技能を確実に習得させる。

【方策】 ①農業に対する興味・関心を高め、農業を好きにさせる。

②実習・実験等における成功体験をとおして、生徒の自己肯定感を向上させる。

③農業の6次産業化による学習を推進し、農業への学習意欲を高める。

④GAP教育、HACCP教育を推進する。

⑤農場部全体で、農業クラブ活動をより一層活性化する。

【重点目標】 ①資格試験の指導を計画的に行い、卒業までに生徒一人一資格以上を取得させる。

②GAP教育、HACCP教育の年間指導計画を作成し、工程ごとのリスク管理を徹底する。

#### (3) 授業力の向上

【目標】 教員一人一人が授業改善の目標を立て、授業力向上に取り組む。

【方策】 ①授業規律を徹底する。

- ②授業研究を計画的に実施し、全教員で取り組む。
- ③全教員が授業評価を実施し、授業改善をすすめる。

【重点目標】①研究部を中心として計画的に授業研究・研究協議を行い、その成果を研究紀要にまとめる。  
②ユニバーサルデザインをはじめ、生徒の人権に配慮した授業づくりを進める。

## 2 生活指導の充実

【中期的目標】

・生徒の状況を学校全体で共有し、必要な指導を全教職員が共通理解のもとに行う組織的な指導体制を確立するとともに、個々の生徒の状況に応じて、必要とされる外部機関と連携して生徒の課題を解決するチーム学校の指導体制を確立する。

### (1) 基本的生活習慣の定着、規範意識の涵養

【目標】あいさつする、時間を守る等、社会で必要とされる基本的生活習慣や規範意識を身に付けさせる。

- 【方策】①生徒の状況を学校全体で共有し、必要な指導を全教職員が共通理解のもとに行う。  
②登校時のあいさつ運動等、教職員が率先垂範して挨拶を行う。  
③授業の定刻開始や遅刻者に対する個に応じた粘り強い指導を行う。  
④時と場合に応じた身だしなみを整える指導を徹底する。

【重点目標】①ルールの意味を考えさせ、生徒が納得してルールを守ることができるよう指導する。

### (2) 生徒一人一人の個に応じた指導の充実

【目標】体罰根絶といじめの未然防止、早期発見、早期対応等、人権に十分配慮した教育活動を行い、自他の生命を尊重する態度を養う。

- 【方策】①全教職員が、生徒の心を育てることを常に意識して指導にあたる。  
②学校全体で、悩みを抱えず相談できる相談体制を整える。  
③Y S WやS C等との連携を進め、生徒情報を共有して指導を行う。

【重点目標】①特に困難な課題を抱える生徒については、ケース会議を実施して課題解決に取り組む。  
②重点的に取り組む人権課題を設定し、講演会等を行い生徒に考えさせる機会を設ける。

### (3) 安全教育の推進

【目標】安全教育を充実させ、安全・安心な学校生活を送ることができるようにする。

- 【方策】①非行や誘惑に巻き込まれない自己管理（危険回避）を指導する。  
②地域や消防署と連携した防災訓練を通じて、実践的な災害対応の方法を身に付けさせる。

【重点目標】①警察や関係機関と連携するとともに、日常的な交通安全教育を実施する。

## 3 進路指導の充実

【中期的目標】

・農業の専門高校として計画的なキャリア教育を推進し、次世代の農業を創造する志をはぐくむとともに、個に応じた進路指導を推進して、生徒の進路希望をより良く実現する。

### (1) キャリア教育の充実

【目標】農業の専門高校としての計画的なキャリア教育により、農業に対する志を高める。

- 【方策】①就農に関する情報を提供し、就農について考える機会を設ける。  
②J Aと連携した農業インターンシップ等を実施して、農業に関連する分野への進学や就職者を増やす。

### (2) 個に応じた進路指導の推進

【目標】生徒一人一人の個に応じた進路指導により、生徒の第一希望の進路実現を実現する。

- 【方策】①上級学校、企業訪問等、情報収集を徹底して行い、進路先が求める生徒像等の理解を深める。  
②ハローワークとの連携を密に取り、就職指導をより一層充実させる。

③奨学金について、適切に情報提供を行う。

【重点目標】①教員が、前年に就職した卒業生の職場訪問を行い、早期離職の防止を図る。

## 4 特別活動の充実

【中期的目標】

・特別活動において、多様な他者と協働する様々な集団活動を経験させ、課題を解決するための話し合い、合意形成や意思決定することをとおして、自己の人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う

【目標】学校行事、ホームルーム活動、部活動等の特別活動を充実させて、生徒の自主性を高め、自律的な活動の活性化を図る。

【方策】①ホームルームは、年間指導計画に基づき計画的、系統的に取り組む。

②具体的な活動内容を学校全体で共有して、生徒会活動の活性化に取り組む。

③活動に必要な予算や指導者を確保し、部活動を支援する。

④生徒が自主的に運営する学校行事となるよう、生徒の状況に合わせた支援を行う。

【重点目標】①理数研究校として、学校の内外で研究成果発表を積極的に行う。

②特別活動全体をとおして、コミュニケーション能力の向上を図る取り組みを進める。

## 5 心と身体の健康の増進

【中期的目標】

・教員と生徒の信頼関係を基盤として、個々の生徒の特性に応じた長所を伸ばす指導を行い、生徒が将来、社会の一員として活躍するための自己肯定感や他者を尊重する心、健康な身体をはぐくむ。

### (1) 生徒の心を育てる教育の推進

【目標】多様な生徒の個に応じた心を育てる教育を推進して、自己肯定感を高め、社会と前向きにかかわろうとする姿勢をはぐくむ。

【方策】①教育相談機能をより一層高め、支援の必要な生徒の情報を共有し、多様な生徒への適切な支援や対応を組織的に検討して実施する。

②特別な支援を必要とする生徒に対して、合理的な配慮や個に応じた適切な支援を行う。

③目標に向かって努力することの大切さを伝え、あきらめずに最後までやり抜く心を育てる。

【重点目標】①テストバッテリーや発達検査の結果を共有し、予防的な支援を組織的に検討して実施する。

### (2) 生命尊重、人権尊重の教育の推進

【目標】生命尊重の教育、人権教育を推進し、自他の生命や人格を尊重する態度をはぐくむ。

【方策】①朝学習等を利用して、人権や命の大切さについて考えさせる指導を計画的に実施する。

②人権課題について教員研修を実施するとともに、生徒向け講演会等を実施する。

③すべての授業、ホームルーム等において、生命尊重、人権尊重の視点から指導を行う。

【重点目標】①人権教育研究推進校として、人権教育を推進し、その成果を広く地域に周知する。

### (3) 体力向上

【目標】からだを動かすことの大切さや楽しさを伝え、体力の向上を図る。

【方策】①教育活動全般をとおして、体を動かすことの大切さを経験させる。

②部活動等、運動に取り組む機会を充実させ、体力の向上を図る。

## 6 学校経営

【中期的目標】

・限られた条件の中で生徒のために最大の成果を上げることが目的とした創意工夫ある取組を推進する。本校の特性を生かした活動により、地域に根ざした農産高校の存在を広く区民・都民に周知する。

### (1) 地域連携、地域貢献活動の推進

【目標】本校の特性を生かした活動を推進し、地域に根ざした学校づくりを進める。

【方策】①日常の学習活動を活かした地域貢献活動や地域貢献活動とおした探究活動を行う。

②「人間と社会」や農業科目等において、自治体や地域の団体と連携した活動に取り組む。

【重点目標】①葛飾区、荒川区との連携を推進する。

②小・中学生、地域住民対象の地域貢献活動を推進する。

### (2) 募集活動を徹底して行う

【目標】中学生に農産高校の情報を的確に伝える。

【方策】①卒業生訪問や出前授業等、中学校への情報提供を積極的に行う。

②学校見学会や学校説明会を工夫して開催するとともに、外部団体主催の説明会に参加する。

③塾への広報活動を徹底して行うとともに、塾の情報を収集する。

【重点目標】①SNSの活用を含め、HP等による情報発信を組織的、計画的に実施する。

### (3) 次世代の社会にむけた教育活動

【目標】持続可能な社会を実現するため、SDGsの取組を推進する。

【方策】①ESD(持続可能な発展のための教育:Education for SustainableDevelopment)を推進する。

②5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の取組を推進する。

③人権教育を推進する。

④新学習指導要領への対応を確実に進める。

【重点目標】①教員研修を計画的に実施する。

②芯が羽州指導要領に対応した教育課程を編成し、グランドデザインの改善に取り組む。

### (4) 学校経営上の課題解決

【目標】生徒の学習環境、学習条件を良好な状態に維持する。

【方策】①施設・設備の維持、補修、更新を計画的に進める。

②什器類の更新を計画的に進める等、生徒の学習環境を整備する。

③廃棄物の廃棄を中長期計画に基づき、計画的に進める。

④自律経営予算を効率的に執行し、予算残をなくす。センター執行率50%を目指す

⑤施設共有や行事交流等、全定の交流を推進する。

【重点目標】①サービス事故防止を徹底する。

②新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。また、対応のための臨時休業等による学習活動への影響を最小限とするため、教育課程を編成し直し、必要な対応を行う。